

# 最新鋭320列X線CT装置導入について

画像診断機器の発展はめまぐるしいものがあり、「検査時間の短縮」「X線被ばくの抑制」「X線CTでの新しい検査への対応」など日々進歩をしています。

このたび、当院では最新鋭のX線CT装置を導入する事となりました（東芝メディカルシステムズ製：Aquillion ONE GS）。この装置の最大の特徴は、わずか1回転で最大160mm幅を撮影できることにあり、（脳、心臓、腎臓、膀胱など、多くの臓器はわずか1回転ですみ）（脳、心臓などはわずか1回転で検査を行う事ができ）、その1回転に必要な時間は0.35秒にあることです。回転時間が早くなった事に伴い、全身検査も従来の半分以下の撮影時間で行えるようになり、長時間の息止めが困難な方にもより優しい検査が可能となります。小児検査においても威力を発揮し、従来はなかなか検査が出来なかった小児においても迅速な検査がおこなえます。

また、この装置は最新の被ばく低減技術を搭載し、それを持たない装置との比較では最大75%の被ばく低減が可能になります。

造影剤（血管をより鮮明に映し出す薬剤）を使用する検査では、当院では従来より行っていた脳血管CTはより精密に4D検査と呼ばれる時間経過での脳血管検査が可能になりました。また、入院をして動脈にカテーテルといわれる管を挿入しないと診断が困難であった心臓血管も検査の対応となります。これにより緊急治療が必要かどうかなどの判断がより迅速におこなえるようになります。

地域中核病院として更なる高度医療を推進できる医療機器になるはずです。これからもよろしくおねがいします。

